

西小だより

よく考え 仲間とともに やりぬく子

「全力 ～輝く 燃え上がる 悔いのない～」

校長 水野 聡

10月11日（土）無事に令和7年度の運動会を開催することができました。開催前の一週間の天気予報では当日まで‘晴れ’の予報でしたが、実際は曇天や雨天となり、当日朝まで雨を心配する一喜一憂の状況の中、何とか開催できました。



9月11日（木）の結団式で、児童会の運営委員から見出しの運動会スローガンが発表されました。このスローガンの達成に向けて一ヶ月の練習や係活動等に取り組みました。私は運動会に向けた取組期間がとても好きです。なぜなら全校児童、全職員が共に同じ目標に向けて、志を持ちながら一気に高まっていく様子が見て分かる

からです。運動会の子もたちの姿を簡単に紹介します。低学年「ゴールをめざしていっちょくせん！」では、ゴールラインを過ぎるまで全力で走り抜ける姿がありました。中学年「投げて、くぐって、とんで！2025」では、箱への玉の投げ入れやフラフープくぐり等の障害物をスムーズにできなくても全員が最後まであきらめずに走り切りました。高学年「西陸上2025 リレー」では、事前練習で分かっていたチームの走力差を、バトンパスやリレーゾーンの工夫でその差を縮める努力をしていました。団体演技は、低学年「心まかせにダンス」では大きな動きでポンポンが映えるように演技しました。中学年「ある3・4年生より愛を込めて」では、フラッグを振る時の「パタパタッ」という音が一つになるように全員が集中して演技しました。高学年「西っ子ソーラン」では皆が一心同体となるよう心と動きを一つに合わせていました。応援披露は赤団・白団共に声の大きさや動きの工夫にこだわり、「まとまりの赤」、「迫力の白」という個性が見られ



ました。また、運動会の成功のカギを握るのは、何ととっても放送、器具、進行、出発等の係の子もたちの動きです。状況に応じて臨機応変に対応していました。また、一ヶ月間、ボランティアで運動場の草を抜いていた子どもたちの支えも大きかったです。このように運動会成功の陰には一ヶ月間の工夫と努力があつてこそでした。今年度もスローガンが達成できた素晴らしい運動会でした。

当日、子どもたちの活躍を応援いただきました来賓の皆様、保護者の皆様、地域の皆様にご感謝申し上げます。誠にありがとうございました。また、運動会終了後に片付けまでお手伝いいただいた皆様、重ねて感謝申し上げます。誠にありがとうございました。